

北監督署・名北協会 合同 「全国安全週間キャンペーン・パトロール」実施

名古屋市北区の建設現場にて作業員約300名の皆さんを激励

全国安全週間期間中の去る7月1日、当協会は名古屋北労働基準監督署と合同で名古屋市北区にある愛知学院大学名城公園キャンパス建設工事現場を訪れ、「全国安全週

間キャンペーン・パトロール」を実施しました。合同キャンペーンでは、名古屋北監督署の田中署長が集まった約300名の作業員を前に、「県内の昨年

の労働災害による死者数は49人で、うち12名は建設業の労働者であった。建設業の死亡災害では墜落・転落が半数を占めた。無事家族の元へ帰ることができるよう

に、ゼロ災害を目指しましょう」と、全工期の無災害完了を要請し、激励しました。

また、当協会の池戸専務理事より合同キャンペーンの趣旨を説明。「この夏も猛暑が予想されるため、体調管理を万全にし、打合せを綿密にし、定められた手順で仕事をすることで、無事故・無災害の現場となるように頑張ってください」と訴え、安全週間キャンペーン用品(ウエットテ

ィッシュ)を職長会の代表者に手渡し、安全意識の向上を図りました。その後、工事現場のパトロールを実施し、墜落・転落や熱中症などへの対策状況を確認しました。

なお、当日は新聞社2社の取材もあり、掲載記事により幅広く安全週間について、周知を行うことができました。

また、当協会では全国安全週間中および準備期間中に、協会で開催する各種講習会場において、協会職員が受講者全員に安全週間キャンペーン用品を配布するなど、安全意識の啓発に努めました。



合同キャンペーンの様子

死者数は49人で、うち12名は建設業の労働者であった。建設業の死亡災害では墜落・転落が半数を占めた。無事家族の元へ帰ることができるよう

説明する池戸専務理事



激励する田中署長



工事現場をパトロールする一行



講習会場でキャンペーンを展開する事務局職員
(協会大会議室にて)

